

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の方が、住み慣れた環境で生活を続けられるよう実践している。	グループホームとしての明確な理念はないもののご利用者の意思、人格の尊重、ご利用者の立場に立った適切なサービスを提供する事を大切にしながら日々のケアに取り組まれています。	法人かグループホーム独自の理念を掲示し、皆さんが確認、共有、認知しやすいようにしていただくことを期待しています。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者や職員が町内または隣接地域の方が多く、散歩や祭り等でも地域の方とのかかわりを持っている。	地域のだんじり祭りにも参加したり、地域の方が庭の草引きや清掃などにきてくれたりと、地域とつながりを持った生活を送っています。また、ボランティアの受け入れも行われています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	定期的開催しているオレンジカフェに参加し、地域の方々と交流している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、サービス状況や取り組みを報告している。	以前は2ヶ月に1度の運営推進会議を行っておられたのですが、現在コロナの件もあり運営推進会議が行えておりません。	コロナが5類になりましたが、依然としてコロナ蔓延はあり続けているため、集まっての会議が困難なこともあります。その中で書面での意見交換などの方法も取り入れて開催してみようことを期待しています。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議にご参加いただき事業所の実情や取り組みを伝えている。また、制度等の不明点や相談等に応じて頂いている。	現在コロナの件もあり運営推進会議が行えていませんが、電話での意見交換などにすぐ相談できる体制をとられています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	定期的研修を行い、身体介護をしないケアに取り組んでいる。玄関は防犯のため夜間のみ施錠している。	毎月のグループホーム会議で身体拘束しないケアの実施についての意見交換をされており研修を実施し、日々のケアに取り組まれています。	
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修を通じて、虐待が起こる構造等の理解を深め、虐待が起こらないよう、見逃ごされないようにしている。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者・計画作成担当者は、自立支援事業・成年後見制度について学ぶ機会を設けている。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約締結、解約又は改定等の際は、やむを得ない場合を除き直接家族様等に説明と質疑応答を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会者記録に意見欄を設け、意見・要望を記入して頂いている。意見・要望は職員会議等を通じて周知検討し運営に反映させている。</p>	<p>普段からご家族の面会時等にご要望など聞き取り、意見をいただいております。また、なかなか面会にこられないご家族には電話でのご要望やリモート面会時に意見を聞き反映に努められています。</p>
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>普段から管理者、リーダーは職員が意見や提案をしやすい雰囲気づくりを心がけている。出てきた意見等は毎月の会議等で検討し運営に反映させている。</p>	<p>月一回のグループホーム会議時に話し合う機会をもたれたり、個別面談を実施し、各スタッフの意見の把握、反映に努められています。</p>
12		<p>○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>定期的に個別面談を実施、個々のニーズ等を聞き取り、働きやすい職場づくりに努めている。</p>	
13		<p>○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>個々に合った研修を検索し、外部研修の機会を設けている。またその研修を内部研修でフィードバックする等の取り組みを行っている。</p>	
14		<p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>外部研修や展示会への参加、勉強会への参加等、同業者と情報交換を行っている。市内事業者との交流を行っている。</p>	

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居による環境変化等による不安や困惑を早期に解消できるよう、また要望等を掴めるよう、コミュニケーションを心がけ信頼関係を築くよう努めている。	
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始にあたり、ご家族様と話す機会を設けニーズを掴み、ご家族様との信頼感を築いている。	
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始時の本人、家族とのコミュニケーションを通じ必要な支援を把握し、自施設で提供できないものについては他のサービスを使えるよう援助を行っている。	
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活歴や得意なことなどを把握し、できることは自身で行って頂きできない部分を支援している。	
19	○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人に何か変化があった時にはその都度家族に様子を伝え、その後について相談しご家族の意向を反映している。	
20	8 ○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前の状況や人間関係・生活歴を把握し、面会や外出を援助し、関係性が途切れないよう支援している。	ご家族の方やご友人との面会も制限無くされており、また外出や外泊の許可、日中ケアハウスでの書道クラブや体操などにも参加され、そこでもなじみの方とお会いしたりと関係が途切れない支援に務められておられます。
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の人間関係がうまくいくように、職員が見守りや、時に中に入り支援を行っている。	
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後でも、必要があれば相談・支援を行う。他の家族が法人内のサービスを利用されている。	

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常のコミュニケーション、様子などから意向等を把握し職員間で情報交換を行い検討できている。	入所時や普段の会話等からご利用者の方の好みや趣味、大切にしている事を把握、また、スタッフ担当制で月1回ご利用者の状態を記録し、各スタッフ間で情報の共有もされています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	入所時に限らず、家人面会時に話を聞く。ご本人と普段の会話から把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送り、経過記録、職員間での情報交換から把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日頃の様子や集めた情報から作成している事が多く、アイデアの反映はあまりできていない。	月に1度の会議で各スタッフが担当制で、一人一人の状態把握した記録を確認し、介護計画に反映されています。またご利用者の状態に合わせてプラン変更も行っておられます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務が優先されがちで記録もれが生じることがある。情報を共有し見直しは行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズに対してはできる限り柔軟に取り組もうとしているが、職員の数によって対応できないこともある。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の活用はほとんどできていない。		

30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には月2回の往診。紹介や希望により外来受診し、各病院とは連携を取りスムーズに支援できている。	基本的には月2回の協力医療機関の往診となっているが、ご家族や本人の希望により専門医への受診も可能で、職員が送迎や付き添い支援を行い、適切な医療が受けられるよう支援しています。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	介護職員は管理者、計画作成担当者を通じ、よしざきCLに報告し、情報や画像を共有することにより適切な受診や看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院時は必ず文書で情報の交換を行い、加えて電話連絡にて担当看護師やMSWと連携を図っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	病状の悪化に伴い、Dr. 家族を含めたカンファレンスを開催し方針を共有している。	入居時にご家族や本人の意思確認がなされ、状態変化があれば随時話し合われています。また、隣接する特養への移動も可能で、法人全体で利用者への支援を行い、利用者、ご家族の安心につながっており、ご家族や本人の望む終末期ケアに取り組まれています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全ての職員は急変や事故発生時に備えるため定期的に研修を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災などの災害時の避難訓練は定期的に行っている。地域との協力体制については今後の課題。	年2回日中・夜間想定の消防訓練を実施されており、災害時に備えホーム内にも備蓄を確保されています。	備蓄品をリストアップし数量や消費期限などの管理を行い、備蓄のサイクルを考え食料品を使った被災訓練をされてはいかがでしょうか。

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の性格や個性を把握し、尊厳を保つような言葉かけや対応を行っている。	研修や会議で話し合いをされており、スタッフに不適切な言動がみられた際には注意し、改善に向けた取り組みがなされています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	それぞれの距離感を大切にし、話しやすい関係を作るよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全体の流れや業務が優先にならないように気を付け、一人一人のペースを大事にするよう心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お好きな整髪剤が使えるよう、買い物の援助など行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事はメニューが決まっています、調理された食事が運ばれてくる。テーブル拭きなどの食事準備を行っています。	食事に関わりを持っていただくよう、食前のご利用者にテーブルを拭いていただいたり、ご利用者個々が食事を楽しめるように支援されています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が栄養バランスのよい献立を作成している。食事の形態や思考は考慮してお出ししている。水分は一日の必要量が確保できるよう確認しながら提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝食後・夕食後は必ず口腔ケアを行っている。昼食後に関しては希望者のみ行っている。義歯は夜間の預かりし洗浄している。		

43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	一人一人の排泄パターンや尿意便意の有無やあいまいさを、日々の報告などにより共有して支援している。	排泄チェック表を活用し個々の排泄サイクルを把握し一人ひとりあった排泄支援を行っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取の管理や促し、日常生活の中でできることをして頂くことで活動量を確保している。排便パターンを把握し随時医師にも相談を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的には1回/3日入浴して頂いているが、その時の体調や気分によって随時順番を入れ替え自由度を高めている。	基本的には3日に一回のペースで入浴していただき、ご利用者の体調や希望に応じて変更も可能です。また、入浴日以外には足浴も実施し入浴が楽しめるよう支援されています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間、起床時間は画一的に決めていない。その時の様子により就寝や起床を促す等臨機応変な対応を心掛けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や容量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が全てを把握できているわけではない。薬の変更があった場合には申し送りノート等により全員が把握できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の能力や嗜好により、掃除洗濯などの手伝いや、パズル・塗り絵・ゲーム等を提供している。		

49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	日常的な外出支援は行えていない。施設周辺の散歩と行事の時や、特定の方をケアハウスまでお連れする程度。	コロナ5類後の現在も日常的に外出することは難しいですが、行事の時などは同法人の施設へ行かれ参加などされています。	ベランダでの散歩や日光浴など、感染状況を見ながら少しの時間でも、外へ出られるよう支援されてはいかがでしょうか。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在の利用者は個人的に金銭を管理されている方はおられない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族様への暑中見舞い・年賀状の支援を行っている。遠方の家族様とのリモート面会の支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じられるような飾りつけを行ったり、利用者に合わせた温度管理を心がけている。	柔らかな光が差し込み、季節を感じられるような飾りつけを行い、掃除も行き届いており過ごしやすい環境となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルを分けることで、気の合った方と過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	慣れ親しんだ物を持ち込んでいただくようにしている。管理の問題やリスク回避のため居室の物が少なくなっていく傾向がある。	慣れ親しんだ物を持ってきていただき、居心地のよい環境作りに配慮されています。また、居室は広く、大きなクローゼットがあり、空間がゆったりとしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの入り口に張り紙をして分かりやすくするなど、ご自身の判断で動けるように配慮している。		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない